

5. 履修対象者の要件

(大分県立看護科学大学大学院資料)

入学要件等		
2年間の医学教育を 効果的・効率的に進めるために		
<ul style="list-style-type: none">5年以上の看護職としての臨床経験入学試験(筆記(80%)および面接(20%)) 総合問題 看護に関する総合的な知識長期履修制度の活用		
平成20年度入学生	3名	2年次生
平成21年度入学生	5名	
平成22年度入学生	6名	
		1年次生
		18

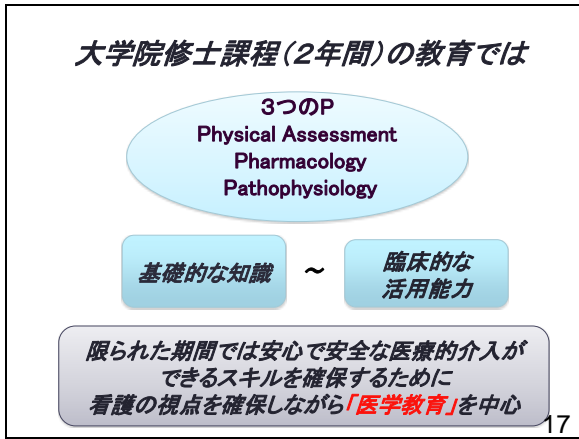
(日本看護協会資料)

特定看護師(仮称)養成 調査 試行事業実施課程
対象は認定看護師としての実 践経験5年以上をもつ者 既に履修済みの認定看護師教 育課程の教育に240時間を追加 した教育プログラム
6

○入学要件は看護師としての臨床経験5年以上。入学試験として筆記試験、面接試験を行っている。

○現場で求められている役割をしっかりと理解し、行動できるようになるには、臨床経験が5年は必要。5年経験者と経験のない者とでは実践力がかなり違う。そのため、臨床経験5年以上を対象者としている。

(大分県立看護科学大学大学院資料)



17

カリキュラム(45単位以上)

必須科目	31	選択科目	8
NP論	1	健康増進科学特論	2
フィジカルアセスメント学特論	2	看護管理学特論	2
臨床薬理学特論	2	看護コンサルテーション論	2
診察・診断学特論	2	看護教育特論	2
病態機能学特論	2	看護理論特論	2
老年NP特論	2	看護倫理学特論	2
老年疾病特論	2	看護政策論	2
老年アセスメント学演習	2	看護研究(必須)	6
老年薬理学演習	2	原書購読演習	2
老年NP実習	14	研究の進め方の基礎	1
		課題研究	3

19

(兵庫県立大学大学院資料)

	科目名	高度実践看護師科目	特定看護師(仮称)養成のための追加科目
教養科目	哲学的人間論、臨床疫学等	4	60
共通科目	実践看護論、看護学研究法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	4	60
分野別共通科目	看護と保健政策、看護コンサルテーション、看護倫理、看護管理看護教育、ベッドサイドの臨床薬理看護ヘルスアセスメント	8	120
	臨床判断過程論		2
専門科目	小児健康生活論・母性健康生活論・小児看護援助論	6	90
演習	小児看護方法論Ⅰ・Ⅱ 看護実践研究 小児身体アセスメント・小児発達判断過程論	6	180 (+120)
検討科目	小児臨床薬理学・小児臨床判断過程論		4
実習科目	実践演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	6	270
	実践演習Ⅳ		2
	計 45単位(810時間以上)	34	780 +11 +240

4

- (東京医療保健大学大学院の教育・研修内容について) 総合診療科のコモン・ディージーズの症候論では、鑑別診断の中で非常に頻度の高い疾患から、まれな疾患まで必ず含まれ、これを看護師に教育する予定である。
- フィジカルアセスメントに関する科目や演習は、救急などの急性期分野だけではなく、在宅の分野でも役立つ科目である。
- 大学院教育とする必要性は、患者の症状マネジメントや、検査の考え方、EBMの実践やどのようにガイドラインを適用するのかなど、臨床判断の教育が必要となるからだと思う。
- 限られた期間の教育であるため、安心して安全な医療的介入ができるスキルを確保するためには、看護の視点を盛り込みながら「医学教育」が中心となる。
- 従来の教育ではアセスメントでとどまっていたが、今回の教育では、臨床のアセスメントに判断を加えた内容としている。判断に関しては、病態の判断、状態の判断、生活能力の判断、そして、今ここで看護師が何をしなければいけないのかという、いわゆる介入に関しての判断を的確にしていこうという部分を学ぶ。
- 訪問看護における医行為のニーズというのは非常に高い。提案されている教育は、現在働いている訪問看護師が受けられるカリキュラムなのか。養成に時間がかかるのではないか。訪問看護をやってきたという実績が評価されたり、あるいは、教育の中で訪問看護の現場を活用できれば良い。